

科目名 (英)	インフォメーションテクノロジー	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	1年	担当教員	小野寺幸子
	( Information Technology )	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 ( 2 )	開講区分	前期
学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻						
教員の略歴	株式会社日立製作所で営業・インストラクターを経て、東北六県で企業、役所、自衛隊、専門学校、短大ほかでパソコンの研修を担当						
授業の学習内 容	社会に通用する仕事のツールとしてコンピュータは必須です。 Word、Excelの基本操作はもちろん、PowerPointでの発表の場も業種問わず増えています。スマホやタブレットの慣れからキーボードが使えない人がいる現状の中、パソコンの基礎が一番大事です。 簡単な案内文書からチラシやポスター作りへの応用、また企業プロジェクトで必要なExcelの表を自在に操作、編集できるようにする。Power Pointでは、スライドを思い通りに作成し、様々な場面で自分を表現できるように力をつけていく。 授業を通じて3つのアプリケーションの最低限の基礎をしっかりと使えるようになってほしい。						
到達目標	10分間タイピング 400字以上入力できる 社会で通用するように基本的な文書作成が30分程度で作成できる Power Pointを使用して明確に自分の伝えたいことをスライドに表現ができ、発表できる						
評価方法と基準	1) 定期試験: Word40%(社外文書が50分以内で作成できるか評価) PowerPoint40%(与えられたテーマを盛り込みスライド7枚で表現できるか評価) 2) 態度・提出物: 20%(授業内での課題の取り組みで評価)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義・演習	パソコンの使い方、Wordの基本操作、入力、文書の基本構成を理解	タイピング練習問題課題①
2	/	講義・演習	文書の効率の良い編集(オートフォーマット、書式設定)	
3	/	講義・演習	便利な機能の使い方、基本文書の作成練習	Word演習問題課題①
4	/	講義・演習	オブジェクト(ワードアート、クリップアート)を活用した文書作成①	
5	/	講義・演習	オブジェクト(SmartArt、図、図形)を活用した文書作成②	Word演習問題課題②
6	/	講義・演習	Excelの基本操作、数式、関数	タイピング練習問題課題②
7	/	講義・演習	体裁を整える(書式)、グラフ作成	10分間タイピングテスト
8	/	講義・演習	練習問題、まとめ	
9	/	講義・演習	PowerPointの基本操作、作成、編集	
10	/	講義・演習	スライドショー、オブジェクトの挿入	
11	/	講義・演習	アニメーション、画面切り替えで表現する	
12	/	講義・演習	まとめとスライド作成の練習	PowerPoint演習問題課題①
13	/	講義・演習	テーマ課題作成実習	テーマ課題準備とWord演習問題③
14	/	講義	後期本試験 Wordでの文書作成テスト	
15	/	講義	PowerPointでの課題作成(発表)提出	10分間タイピングテスト
準備学習 時間外学習			演習問題等で操作をマスターする。	

【使用教科書・教材・参考書】 □

実教出版株式会社 ”ポイントでマスター 基礎からはじめる情報リテラシーOffice2019”

科目名 (英)	動物行動学 ( Science of Animal Behaviour )		必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	1	担当教員	佐藤美月
	学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻	授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期・後期・通 年・集中等
教員の略歴	動物系専門学校研究科卒業後、専門学校非常勤講師を経てドッグスクール主宰							
授業の学習内 容	飼い主とより密接に関わる職業に就く人が、犬・飼い主双方に寄り添ったしつけの知識・技術を身につけられるように、犬の生態や行動学をベースに現代に多い犬の悩みや犬が人間社会で暮らすための知識、カウンセリング能力を身につける。							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犬を理解する(生態・行動学)</li> <li>・行動学をポジティブトレーニングへ応用する</li> <li>・人と犬が共生する上で大切なことを理解する</li> <li>・カウンセリングの大切さを学び、実践することが出来る</li> </ul>							
評価方法と基準	1)授業内の定期的な小テスト60%、レポート20%、出席率20%							

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1	/	講義・実技	犬と接するために、大切なことを理解し、犬の特徴を見極めることができる				
2	/	講義・実技	犬のボディランゲージの観察ができる				
3	/	講義	犬の行動力、生態について説明できる				
4	/	講義	犬の学習理論とトレーニングを結び付けて考えることができる				
5	/	講義	ポジティブトレーニングについて理解することができる				
6	/	講義	家庭犬にオビディエンスが必要な理由を理解し、トレーニングに入るまでの準備ができる				
7	/	実技	ポジティブトレーニングを使用したオビディエンスが実践できる				
8	/	講義・実技	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭犬に必要なマナーの知識</li> <li>・ポジティブトレーニングを使用したオビディエンスが実践できる</li> </ul>				
9	/	講義・実技	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭犬に必要なマナーの知識</li> <li>・ポジティブトレーニングを使用したオビディエンスが実践できる</li> </ul>				
10	/	講義・実技	・現代に多い犬の悩みを理解する				
11	/	講義・実技	・現代に多い犬の悩みを理解する				
12	/	講義	パピー期について理解する				
13	/	講義	パピー期について理解する				
14	/	講義	お悩み相談ーカウンセリング技術を理解する				
15	/	講義・実技	カウンセリングを実践できる				
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 □							

科目名 (英)	動物形態機能学 I ( Animal Form Function I )		必修 選択	必修・選択必修 選択等	年次	1	担当教員	小野裕之
	学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻	授業 形態	講義・演習・実習等	総時間 (単位)	60 ( 4 )	開講区分	前期・後期・通年・集中等
教員の略歴	岩手大学農学部連合大学院卒業後動物病院勤務を経て小野動物病院開業							
授業の学習内容	動物の体のしくみを理解し、知識や行動につなげ、体の構造を理解する							
到達目標	この科目を受講して、学生が動物の体のしくみを理解し、飼育の知識と行動を行うことが出来るようにする							
評価方法と基準	定期試験:80% 授業態度と参加度:20%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	動物形態機能学総論	講義範囲を予習・復習する。
2	/	講義	生物学の復習①	講義範囲を予習・復習する。
3	/	講義	生物学の復習②	講義範囲を予習・復習する。
4	/	講義	生物学の復習③	講義範囲を予習・復習する。
5	/	講義	動物の体の機能①	講義範囲を予習・復習する。
6	/	講義	動物の体の機能②	講義範囲を予習・復習する。
7	/	試験	循環器① 心臓	講義範囲を予習・復習する。
8	/	講義	循環器② 心電図、心臓機能	講義範囲を予習・復習する。
9	/	講義	循環器③ 血管の種類、構造、機能、血圧	講義範囲を予習・復習する。
10	/	講義	呼吸器① 呼吸器の成り立ちと構造	講義範囲を予習・復習する。
11	/	講義	呼吸器② 外呼吸、内呼吸	講義範囲を予習・復習する。
12	/	講義	呼吸器③ 酸素の移動、二酸化炭素の運搬	講義範囲を予習・復習する。
13	/	講義	消化器① 消化器の構造と機能	講義範囲を予習・復習する。
14	/	試験	消化器② 口腔期間と働き	講義範囲を予習・復習する。
15	/	試験	試験、振り返り	試験範囲を勉強し、試験後、見直す。
準備学習 時間外学習			学校の図書やインターネットを利用して講義の範囲内を予習・復習する。	
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				



科目名 (英)	動物形態機能学 I ( Animal Form Function I )		必修 選択	必修・選択必修・選択等	年次	1	担当教員	小野裕之
	学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻	授業 形態	講義・演習・実習等	総時間 (単位)	60 ( 4 )	開講区分	前期・後期・通年・集中等 曜日・時限
教員の略歴	岩手大学農学部連合大学院卒業後動物病院勤務を経て小野動物病院開業							
授業の学習内容	動物の体のしくみを理解し、知識や行動につなげ、体の構造を理解する							
到達目標	この科目を受講して、学生が動物の体のしくみを理解し、飼育の知識と行動を行うことが出来るようにする							
評価方法と基準	定期試験:80% 授業態度と参加度:20%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	消化器③ 胃・小腸・大腸の構造と機能	講義範囲を予習・復習する。
2	/	講義	消化器④ 膵臓・肝臓の構造と機能	講義範囲を予習・復習する。
3	/	講義	内分泌① 内分泌の定義、ホルモンの特徴	講義範囲を予習・復習する。
4	/	講義	内分泌② 分泌している器官、フィードバック調節	講義範囲を予習・復習する。
5	/	講義	内分泌③ ホルモンの作用と標的器官	講義範囲を予習・復習する。
6	/	講義	内分泌④ 内分泌臓器の構造と機能	講義範囲を予習・復習する。
7	/	試験	泌尿器① 泌尿器系の成り立ちと構造	講義範囲を予習・復習する。
8	/	講義	泌尿器② 腎臓の構造と機能	講義範囲を予習・復習する。
9	/	講義	泌尿器③ クリアランス	講義範囲を予習・復習する。
10	/	講義	泌尿器④ 電解質バランス、酸・塩基平衡	講義範囲を予習・復習する。
11	/	講義	感覚器① 眼・耳の構造と機能	講義範囲を予習・復習する。
12	/	講義	感覚器② 体性感覚(皮膚感覚)	講義範囲を予習・復習する。
13	/	講義	感覚器③ 特殊感覚(視覚、聴覚、平衡感覚、臭覚、味覚)	講義範囲を予習・復習する。
14	/	試験	試験	試験範囲を勉強する。
15	/	講義	振り返り	試験後、見直す。
準備学習 時間外学習			学校の図書やインターネットを利用して講義の範囲内を予習・復習する。	
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				



科目名 (英)	愛玩動物・適正飼養関連法規 I ( Animal Welfare and Breeding Regulations I )	必修 選択	必修・選択必修・選択 等	年次	1	担当教員	高山 清次
		授業 形態	講義・演習・実習等	総時間 (単位)	15 ( 1 )	開講区分	前期・後期・通 年・集中等
学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻						
教員の略歴	1985年麻布大学大学院獣医学部博士課程修了、獣医師、上妻商会代表						
授業の学習内容	動物の愛護及び適正飼養に関連する様々な法規について学び、人と動物の共生のあり方等を理解する。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛護・適正飼養の概念の基本を理解する。</li> <li>・愛護・適正飼養関連行政法規の概要について理解する。</li> <li>・社会福祉行政・環境衛生法規の概要について理解する。</li> <li>・野生動物等に関する法律および条約について理解する。</li> </ul>						
評価方法と基準	筆記試験:100%						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1	/	講義	動物の愛護及び管理に関する法律(動物愛護管理法)の目的・構成・概要①	講義範囲を予習・復習する。			
2	/	講義	動物の愛護及び管理に関する法律(動物愛護管理法)の目的・構成・概要②	講義範囲を予習・復習する。			
3	/	講義	愛玩動物用飼料の安全性の確保に関する法律(ペットフード安全法)の目的・基準や規格・管理	講義範囲を予習・復習する。			
4	/	講義	社会福祉行政・環境衛生法規(身体障害者補助犬法)	講義範囲を予習・復習する。			
5	/	講義	社会福祉行政・環境衛生法規(廃棄物処理法・化製場等に関する法律)	講義範囲を予習・復習する。			
6	/	講義	野生動物などに関する法律および条約(外来生物法・種の保存法・鳥獣保護管理法・ワシントン条約・ラムサール条約等)	講義範囲を予習・復習する。			
7	/	試験	評価試験	試験範囲を勉強し、試験後、見直す。			
8	/	講義	解説				
9	/						
10	/						
11	/						
12	/						
13	/						
14	/						
15	/						
準備学習 時間外学習			学校の図書やインターネットを利用して講義の範囲内を予習・復習する。				



【使用教科書・教材・参考書】 □

科目名 (英)	動物看護学概論 ( Animal Nursing )		必修 選択	必修・選択必修・選 択等	年次	1	担当教員	高山清次
	学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻	授業 形態	講義・演習・実習等	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期・後期・通年・集 曜日・時限 中等
教員の略歴	1985年麻布大学大学院獣医学部博士課程修了、獣医師、上妻商会代表							
授業の学習内容	動物看護の歴史と定義や動物看護に関する基礎知識を理解することを目的としている。							
到達目標	動物看護学概論の知識を身につけることにより、動物看護師として業界で活躍する人材になることを目標としている。							
評価方法と基準	定期試験:80% 授業態度と参加度:20%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	講義	歴史上にみる獣医療の歴史を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
2	／	講義	日本国内の獣医療の歴史を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
3	／	講義	動物看護の概念を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
4	／	講義	動物看護の本質を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
5	／	講義	「看護」の歴史と定義を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
6	／	講義	動物看護の対象と目的を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
7	／	講義	日本国内の動物看護師の軌跡を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
8	／	講義	資格化に向けての動きと軌跡を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
9	／	講義	動物看護師の職域と現状を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
10	／	講義	欧米の動物看護師の職域との相違を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
11	／	講義	動物看護師に求められる視点と能力を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
12	／	講義	動物看護師の診療時における役割を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
13	／	講義	動物看護師としての必要な知識を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
14	／	試験	評価試験	試験範囲を勉強し、試験後、見直す。
15	／	講義	評価試験返却・解説・まとめ	試験範囲を振り返り、理解を深める。
準備学習 時間外学習			学校の図書やインターネットを利用して講義の範囲内を予習・復習する。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	動物感染症学 ( Animal Infection )		必修 選択	必修・選択必修・選択等	年次	1	担当教員	久田
	学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻	授業 形態	講義・演習・実習等	総時間 (単位)	90 6	開講区分	前期・後期・通年・集中等
教員の略歴	愛玩動物看護師・専門学校アニマルインターカレッジにて動物看護コースの講師として勤務							
授業の学習内容	微生物の分類と特徴、動物寄生虫学、動物感染症							
到達目標	微生物の種類・形・病原性について理解する。併せて感染の成立についても考慮し感染症対策など必要な消毒法を実践できるように手技・必要性を理解する。寄生虫では予防・検査・治療など動物の健康管理法を学び、寄生虫の対応・対策の基本を理解する							
評価方法と基準	定期試験80%/出席率20%							

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1	/	講義	細菌・ウイルスの歴史 細菌の構造について、代謝・増殖について		
2	/	講義	細菌・ウイルスの歴史 細菌の構造について、代謝・増殖について		課題プリントの配布
3	/	講義	細菌・ウイルスの歴史 細菌の構造について、代謝・増殖について		
4	/	講義	ウイルスの構造について 代謝・増殖について		
5	/	講義	ウイルスの構造について 代謝・増殖について		
6	/	講義	ウイルスの構造について 代謝・増殖について		課題プリントの配布
7	/	講義	真菌の構造について 微生物の病原性 /細菌・ウイルス検査方法		
8	/	講義	真菌の構造について 微生物の病原性 /細菌・ウイルス検査方法		課題プリントの配布
9	/	講義	感染症の成立・予防		
10	/	講義	感染症の成立・予防		
11	/	講義	消毒・滅菌法について		
12	/	講義	消毒・滅菌法について		
13	/	講義	検査方法の確認		
14	/	試験	試験		
15	/		振り返り		
準備学習 時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】 □ 愛玩動物看護師の教科書 第3巻					

科目名 (英)	公衆衛生学 I (Public Morality Health I)	必修 選択	必修・選択必修・選択等	年次	1	担当教員	高山清次
学科・コース	動物看護師専攻	授業 形態	講義・演習・実習等	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期・後期・通年・集中等
教員の略歴	1985年麻布大学大学院獣医学部博士課程修了、獣医師、上妻商会代表						
授業の学習内容	疾病や健康増進のしくみを学び、理解し明確な知識を持って、動物関係の仕事をする時はもちろんのこと、日常生活においても、この知識を役立てる。						
到達目標	この科目を受講した学生が、動物飼育の仕事に携わる時、公衆衛生の知識を持って、行動できることを目標とする。						
評価方法と基準	定期試験:80% 授業態度と参加度:20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	公衆衛生の概要を把握する。	講義範囲を予習・復習する。
2	/	講義	動物のよい飼育環境を理解することができる。	講義範囲を予習・復習する。
3	/	講義	①環境衛生について理解することができる。	講義範囲を予習・復習する。
4	/	講義	②環境衛生について理解することができる。	講義範囲を予習・復習する。
5	/	講義	疾病の定義について理解することができる。	講義範囲を予習・復習する。
6	/	講義	防疫について、実践できる。	講義範囲を予習・復習する。
7	/	講義	①消毒のしくみについて理解することができる。	講義範囲を予習・復習する。
8	/	講義	②消毒のしくみについて理解することができる。	講義範囲を予習・復習する。
9	/	講義	①病原体について理解することができる。	講義範囲を予習・復習する。
10	/	講義	②病原体について理解することができる。	講義範囲を予習・復習する。
11	/	講義	ワクチンの仕組みについて述べるができる。	講義範囲を予習・復習する。
12	/	講義	①ズーノーシスを理解することができる。	講義範囲を予習・復習する。
13	/	講義	②ズーノーシスの予防を実践することができる。	講義範囲を予習・復習する。
14	/	試験	評価試験	試験範囲を勉強し、試験後、見直す。
15	/	講義	評価試験返却・解説・まとめ	試験範囲を振り返り、理解を深める。

16	/			
準備学習 時間外学習		学校の図書やインターネットを利用して講義の範囲内を予習・復習する。		
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				

科目名 (英)	動物内科看護学 ( Animal internal Medicine Nursing )	必修 選択	必修・選択の 修・選択等	年次	1	担当教員	横山 昌美
学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 2	開講区分	前期
教員の略歴	愛玩動物看護師 複数の動物病院にて勤務経験あり						
授業の学習内容	犬猫の日常的な健康管理、内科診療の検査の補助や看護に必要な基礎知識を学び、検体の採取方法や取り扱い、所見の記録などについて学びます。この授業を踏まえて、『動物内科看護学実習』でさらに技術を身につけます。						
到達目標	①保定やバイタルチェックなどを理解する ②検体の扱い方を理解する ③内科診療の基礎知識、様々な検査方法を理解する						
評価方法及び基準	1) 定期試験 70% 2) 出席率 20% 3) 授業態度 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/13	講義+演習	動物看護師の役割、病院業務について知識を習得する	授業ノートの復習
2	4/20	講義+演習	動物の扱い方、保定方法について知識を習得する	授業ノートの復習
3	4/27	講義+演習	バイタルサインについて知識を習得する	授業ノートの復習
4	5/11	講義+演習	看護における観察ポイントについて知識を習得する	授業ノートの復習
5	5/18	講義+演習	環境管理、衛生管理について知識を習得する	授業ノートの復習
6	5/25	講義+演習	爪切り、耳掃除、肛門腺絞りについて知識を習得する	授業ノートの復習
7	6/1	講義+演習	食事について知識を習得する	授業ノートの復習
8	6/15	講義+演習	検査に使う医材について知識を習得する	授業ノートの復習
9	6/22	講義+演習	投薬について知識を習得する	授業ノートの復習
10	6/29	講義+演習	尿検査について知識を習得する	授業ノートの復習
11	7/6	講義+演習	便検査について知識を習得する	授業ノートの復習
12	7/13	講義+演習	血液検査について知識を習得する	授業ノートの復習
13	8/31	講義+演習	試験前の復習	授業ノートの復習
14	9/7	講義	筆記試験	試験範囲の復習
15	9/14	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具・ノート・教科書第4巻				

科目名 (英)	動物医療コミュニケーション (Animal medical communication)		必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	高山ゆい
	学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
教員の略歴	動物系専門学校卒業後、2014年から動物病院にて動物看護師として勤務							
授業の学習 内容	事前問診・入院動物の容態、院内に他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について理解する							
到達目標	事前問診・入院動物の容態、院内に他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について理解し、実践することができる							
評価方法と基準	期末テスト結果: A…100～80点、B…79～70点、C…69～60点、D…59～0点として評価する。							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	適正飼養について理解し、健康管理	講義内容の予習・復習
2	/	講義	動物と飼い主が良好な関係を構築す	講義内容の予習・復習
3	/	講義	病気の適切な予防法(予防接種、フ	講義内容の予習・復習
4	/	講義	病気の適切な予防法(予防接種、フ	講義内容の予習・復習
5	/	講義	病気の適切な予防法(予防接種、フ	講義内容の予習・復習
6	/	講義	在宅看護等におけるコミュニケーショ ン技能について理解する	講義内容の予習・復習
7	/	講義	飼い主への指導を主体としたインフォ ムドコンセントについて理解する	講義内容の予習・復習
8	/	講義	獣医療面接のプロセス(導入・乗言・質 問・傾聴・要約・確認・終結)について 理解する	講義内容の予習・復習
9	/	講義	獣医療面接のプロセス(導入・乗言・質 問・傾聴・要約・確認・終結)について 理解する	講義内容の予習・復習
10	/	講義	チーム獣医療に関するコミュニケー	講義内容の予習・復習
11	/	講義	受付業務(診療受付、電話対応、精算、 トラブル対応など)について理解する	講義内容の予習・復習
12	/	講義	物品購入や管理について理解する	講義内容の予習・復習
13	/	講義	ペット保険について理解する	講義内容の予習・復習
14	/	講義	試験	試験範囲を勉強し、試験後見直す
15	/	講義	解説	講義を振り返り、理解を深める
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □ 動物看護専門誌as(インターズー)、愛玩動物看護師の教科書(緑書房、1年目に身につける社会人マナー&接客スキル50)				

科目名 (英)	愛玩動物学 (Pet Animal Studies)		必修 選択	必修・選択 必修・選択等	年次	1年	担当教員	久田百恵
	学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻	授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期・後期・通 年・集中等
教員の略歴	愛玩動物看護師・専門学校アニマルインターカレッジにて動物看護コースの講師として勤務							
授業の学習内 容	伴侶・愛玩動物の歴史や品種、飼養管理法、およびエキゾチック動物の生態について学ぶ。							
到達目標	様々な動物の特性と人との関わり方を理解する。							
評価方法と基準	定期試験80%/出席率20%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	犬の歴史・犬の進化・国際畜犬連盟について	
2	/	講義	グループ別の犬の特徴 (G1・2)	Ecoの動く犬種図鑑参照
3	/	講義	グループ別の犬の特徴 (G3・4・5)	Ecoの動く犬種図鑑参照
4	/	講義	グループ別の犬の特徴 (G5・6・7)	Ecoの動く犬種図鑑参照
5	/	講義	グループ別の犬の特徴 (G8・9・10)	犬種確認プリント配布
6	/	講義	血統書の読み方について	
7	/	講義	猫の品種・特徴について	愛玩動物看護師の教科書
8	/	講義	猫の品種・特徴について	
9	/	講義	犬種ごとの疾病について	
10	/	講義	犬種ごとの疾病について	
11	/	講義	身体障害者補助犬に関して 愛玩動物の飼養管理について	
12	/	講義	愛玩動物の飼養管理について	
13	/	講義	愛玩動物の飼養管理について	
14	/	試験	試験	
15	/		振り返り	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
・自己作成資料 ・動く犬種図鑑・看護教科書				



科目名 (英)	人と動物の関係学 ( Study of Human-Animal Bond )	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	1	担当教員	横山 昌美
学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
教員の略歴	愛玩動物看護師 複数の動物病院にて勤務経験あり						
授業の学習内容	人と動物の関係における歴史や、動物が人間社会で果たしている役割や背景について学びます						
到達目標	①動物が人間と関わる様になった歴史を理解する ②愛玩動物の歴史、役割について理解する						
評価方法と基準	1) 定期試験 70% 2) 出席率 20% 3) 授業態度 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/13	講義	人と動物の関わり方の歴史について知識を習得する	授業ノートを見直す
2	4/20	講義	他国と日本の動物観の違いについて知識を習得する	授業ノートを見直す
3	4/27	講義	家畜化について知識を習得する	授業ノートを見直す
4	5/11	講義	社会における動物看護師の役割について知識を習得する	授業ノートを見直す
5	5/18	講義	動物虐待について知識を習得する	授業ノートを見直す
6	5/25	講義	多頭飼育崩壊について知識を習得する	授業ノートを見直す
7	6/1	講義	愛玩動物が与える恩恵について知識を習得する	授業ノートを見直す
8	6/15	講義	愛玩動物と人間の高齢化について知識を習得する	授業ノートを見直す
9	6/22	講義	動物がもたらす効果について知識を習得する	授業ノートを見直す
10	6/29	講義	動物介在介入について知識を習得する	授業ノートを見直す
11	7/6	講義	動物介在介入と愛玩動物看護師の関わりについて知識を習得する	授業ノートを見直す
12	7/13	講義	学校飼育動物について知識を習得する	授業ノートを見直す
13	8/31	講義	試験前の復習	授業ノートを見直す
14	9/7	講義	筆記試験	試験範囲の復習
15	9/14	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具・ノート・教科書第6巻				

科目名 (英)	動物内科看護学実習 ( Animal Internal Medicine Nursing Practice )	必修 選択	必修・選択の 修・選択等	年次	1	担当教員	横山 昌美
学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻	授業 形態	講義・実習	総時間 (単位)	120 2	開講区分	後期
教員の略歴	愛玩動物看護師 複数の動物病院にて勤務経験あり						
授業の学習内容	犬猫の日常的な健康管理、内科診療の検査や看護に必要な手技、検体の採取方法や取り扱い、所見の記録などの技術を身につけ、『動物内科看護学』の知識の定着を図ります。						
到達目標	①保定やバイタルチェックなどの技術を習得し、動物の状態を把握するスキルを身につける ②検体の扱い方法を理解し、適切に扱う技術を習得する ③内科診療の基礎知識を身につけ、様々な検査等に必要な技術を習得する						
評価方法及び基準	1) 定期試験 70% 2) 出席率 20% 3) 授業態度 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10/5	講義+演習	口腔内と歯科について知識を習得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
2	10/12	講義+演習	X線検査について知識を習得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
3	10/19	講義+演習	超音波検査について知識を習得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
4	10/26	講義+演習	静脈留置について知識を習得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
5	11/2	講義+演習	輸液について知識を習得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
6	11/9	講義+演習	全身麻酔について知識を習得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
7	11/16	講義+演習	画像検査 (CT/MRI) について知識を習得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
8	11/30	講義+演習	耳垢検査について知識を習得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
9	12/7	講義+演習	皮膚の検査について知識を習得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
10	12/14	講義+演習	看護記録について知識を習得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
11	12/21	講義+演習	神経学的検査について知識を習得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
12	1/11	講義+演習	心電図検査と血圧検査について知識を習得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
13	1/18	講義+演習	試験前の復習	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
14	1/25	講義	筆記試験	試験範囲の復習
15	2/1	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具・ノート・教科書第4巻				

科目名 (英)	動物内科看護学実習 ( )	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	1	担当教員	横山 昌美
学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻	授業 形態	講義・実習	総時間 (単位)	120 2	開講区分	後期 曜日・時限
教員の略歴	愛玩動物看護師 複数の動物病院にて勤務経験あり						
授業の学習内容	犬猫の日常的な健康管理、内科診療の検査や看護に必要な手技、検体の採取方法や取り扱い、所見の記録などの技術を身につけ、『動物内科看護学』の知識の定着を図ります。						
到達目標	①保定やバイタルチェックなどの技術を得得し、動物の状態を把握するスキルを身につける ②検体の扱い方法を理解し、適切に扱う技術を得得する ③内科診療の基礎知識を身につけ、様々な検査等に必要な技術を得得する						
評価方法及び基準	1) 定期試験 70% 2) 出席率 20% 3) 授業態度 10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10/5	講義+演習	口腔内のケアに必要な技術を得得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
2	10/12	講義+演習	X線検査に必要な技術を得得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
3	10/19	講義+演習	超音波検査に必要な技術を得得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
4	10/26	講義+演習	静脈留置設置に必要な技術を得得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
5	11/2	講義+演習	点滴に必要な技術を得得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
6	11/9	講義+演習	全身麻酔に必要な技術を得得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
7	11/16	講義+演習	CT/MRI検査に必要な技術を得得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
8	11/30	講義+演習	耳垢検査に必要な技術を得得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
9	12/7	講義+演習	皮膚検査に必要な技術を得得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
10	12/14	講義+演習	看護記録に必要な技術を得得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
11	12/21	講義+演習	神経学的検査に必要な技術を得得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
12	1/11	講義+演習	心電図検査と血圧検査に必要な技術を得得する	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
13	1/18	講義+演習	試験前の復習	学校犬の飼育当番時に技術を活かす
14	1/25	講義	筆記試験	試験範囲の復習
15	2/1	講義	試験問題の解説を通してこれまでの授業を振り返る	試験で間違った部分の復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具・ノート・教科書第4巻				

科目名 (英)	動物愛護適正飼養実習 I ( Animal Welfare and Breeding Practice I )	必修 選択	必修・選択必修・選択等	年次	1	担当教員	関口順子
		授業 形態	講義(演習)実習等	総時間 (単位)	60 2	開講区分	前期・後期・通年・集中等
学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻						
教員の略歴	東京農業大学農学部畜産学科卒業後動物系専門学校勤務、認定動物看護師資格所持、専任教員						
授業の学習内容	検体検査及び生体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を習得する。						
到達目標	細胞診、心電図検査、エックス線検査、超音波検査、皮膚検査などができるようになる						
評価方法と基準	定期試験80%/出席率20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	実習	動物種に応じた安全なハンドリングができる	
2	/	実習	動物を安全に散歩・運動させることができる	
3	/	実習	天の散歩や運動、ふれあいのために、適切な道具(首輪、胴輪、リード、おもちゃなど)を選択することができる	
4	/	実習	基本的なグルーミングを実施できる	
5	/	実習	基本的なグルーミングを実施できる	
6	/	実習	基本的なグルーミングを実施できる	
7	/	実習	基本的なグルーミングを実施できる	
8	/	実習	基本的なグルーミングを実施できる	
9	/	実習	基本的なグルーミングを実施できる	
10	/	実習	基本的なグルーミングを実施できる	
11	/	実習	動物の飼養環境を適切に整備できる	
12	/	実習	犬や猫の品種に応じた特徴について説明できる	
13	/	実習	動物の適切な飼養方法について指導できる	
14	/	試験	試験	
15	/		振り返り	
準備学習 時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】



科目名 (英)	動物看護総合実習 I ( Practical Training I )		必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	関口順子
	学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	前期・後期・通年・ 集中等
教員の略歴	東京農業大学農学部畜産学科卒業後動物系専門学校勤務、認定動物看護師資格所持、専任教員							
授業の学習内容	動物病院での実際の動物看護業務を体験し、電話対応、問診、カルテの作成、整理など主に受付業務を中心に必要な知識、技術を身につける。また、医療チームの一員としての言動、立場に対する責任感を認識する。さまざまな職場でのインターンシップを通じて、動物関連業務における広い見識を身につける。							
到達目標	動物病院での実際の動物看護業務を体験し、身につけた知識や技術を総合的に実践できる。							
評価方法と基準	【学外】 実習施設での評価(各項目のチェック内容、総合判定及び総括コメント): 50% 【学内】 学校での実習報告(レポートとレジュメ)、研修日報: 50%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	実習オリエンテーション 「動物看護総合実習」の概要・目的を理解できる。	実習準備
2	/	演習	動物病院での実習・実践	実習内容の予習・復習
3	/	演習	動物病院での実習・実践	実習内容の予習・復習
4	/	演習	動物病院での実習・実践	実習内容の予習・復習
5	/	演習	動物病院での実習・実践	実習内容の予習・復習
6	/	演習	実習報告会 学んだことをもとにレポートを作成できる	実習内容のまとめ
7	/	演習	実習報告会 レポートをもとに学内で報告することができる	
8	/			
9	/			
10	/			
11	/			
12	/			
13	/			
14	/			
15	/			
準備学習 時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】



科目名 (英)	ビジネスマナー I ( Business manner I )	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	高山ゆい
学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
教員の略歴	2014年から動物看護師として動物病院勤務(動物病院在籍中)						
授業の学習内容	愛玩動物看護師国家試験に合格するための知識をつける						
到達目標	愛玩動物看護師国家試験の合格を目指す						
評価方法と基準	愛玩動物看護師国家試験に合格する						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	試験対策	講義内容の予習・復習
2	/	講義	試験対策	講義内容の予習・復習
3	/	講義	試験対策	講義内容の予習・復習
4	/	講義	試験対策	講義内容の予習・復習
5	/	講義	試験対策	講義内容の予習・復習
6	/	講義	試験対策	講義内容の予習・復習
7	/	講義	試験対策	講義内容の予習・復習
8	/	講義	試験対策	講義内容の予習・復習
9	/	講義	試験対策	講義内容の予習・復習
10	/	講義	試験対策	講義内容の予習・復習
11	/	講義	試験対策	講義内容の予習・復習
12	/	講義	試験対策	講義内容の予習・復習
13	/	講義	試験対策	講義内容の予習・復習
14	/	講義	試験対策	講義内容の予習・復習
15	/	講義	試験対策	講義内容の予習・復習
準備学習 時間外学習				
動物看護師統一認定試験過去問題, 愛玩動物看護師国家試験対策問題集				



科目名 (英)	生命倫理・動物福祉 (Bioethics/Animal welfare)		必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	高山清次
	学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期・後期・通 年・集中等
教員の略歴	1985年麻布大学大学院獣医学部博士課程修了、獣医師、上妻商会代表							
授業の学習内容	動物愛護や動物福祉(アニマルウェルフェア)、およびその基礎となる生命倫理の考えかたについて学ぶ							
到達目標	動物愛護や動物福祉(アニマルウェルフェア)を理解し、動物看護師として業界で活躍する人材になることを目標としている。							
評価方法と基準	定期試験:80% 授業態度と参加度:20%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	動物福祉と愛護の違いを理解する	講義範囲を予習・復習する。
2	/	講義	動物福祉の概念、歴史を理解する	講義範囲を予習・復習する。
3	/	講義	西欧と日本における動物福祉の変遷を理解する	講義範囲を予習・復習する。
4	/	講義	日本における動物福祉の考え方を知る	講義範囲を予習・復習する。
5	/	講義	動物愛護管理法の意味、目的、概要を理解する	講義範囲を予習・復習する。
6	/	講義	産業動物の福祉 5つの自由の成り立ちと定義を理解する	講義範囲を予習・復習する。
7	/	講義	5つの自由の実践を考える	講義範囲を予習・復習する。
8	/	講義	実験動物の福祉 3つのRの成り立ちと定義を理解する	講義範囲を予習・復習する。
9	/	講義	3つのRの実践を考える	講義範囲を予習・復習する。
10	/	講義	安楽死について定義を理解する	講義範囲を予習・復習する。
11	/	講義	生命倫理について意味、4原則について知る	講義範囲を予習・復習する。
12	/	講義	飼育動物の災害時の対応について理解する	講義範囲を予習・復習する。
13	/	講義	同伴避難について理解する	講義範囲を予習・復習する。
14	/	試験	評価試験	試験範囲を勉強し、試験後、見直す。
15	/	講義	評価試験返却・解説・まとめ	試験範囲を振り返り、理解を深める。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				



科目名 (英)	動物形態機能学Ⅱ ( Animal Form Function Ⅱ )		必修 選択	必修・選択必修・選択等	年次	2	担当教員	小野裕之
	学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻	授業 形態	講義・演習・実習等	総時間 (単位)	60 ( 4 )	開講区分	前期・後期・通年・集中等
教員の略歴	岩手大学農学部連合大学院卒業後動物病院勤務を経て小野動物病院開業							
授業の学習内容	動物の体のしくみを理解し、知識や行動につなげ、体の構造を理解する							
到達目標	この科目を受講して、学生が動物の体のしくみを理解し、飼育の知識と行動を行うことが出来るようにする							
評価方法と基準	定期試験:80% 授業態度と参加度:20%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	神経① 神経の成り立ちと構造	講義範囲を予習・復習する。
2	/	講義	神経② ニューロン、シナプス伝達、中枢神経	講義範囲を予習・復習する。
3	/	講義	神経③ 大脳、小脳、脳幹	講義範囲を予習・復習する。
4	/	講義	神経④ 脊椎の構造と機能、体性神経	講義範囲を予習・復習する。
5	/	講義	神経⑤ 自律神経の構成と機能	講義範囲を予習・復習する。
6	/	講義	運動器① 骨格系の成り立ちと構造、機能	講義範囲を予習・復習する。
7	/	試験	運動器② 軸骨格(頭骨、椎骨、肋骨、胸骨)	講義範囲を予習・復習する。
8	/	講義	運動器③ 付属肢骨格、内臓骨格	講義範囲を予習・復習する。
9	/	講義	運動器④ 関節の構造と働き	講義範囲を予習・復習する。
10	/	講義	運動器⑤ 骨格筋の構造と収縮機序	講義範囲を予習・復習する。
11	/	講義	皮膚① 皮膚の組織構造と機能	講義範囲を予習・復習する。
12	/	講義	皮膚② 皮膚の構造と機能	講義範囲を予習・復習する。
13	/	講義	皮膚③ 付属器の構造と機能	講義範囲を予習・復習する。
14	/	試験	試験	試験範囲を勉強する。
15	/	講義	振り返り	試験後、見直す。
準備学習 時間外学習			学校の図書やインターネットを利用して講義の範囲内を予習・復習する。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				



科目名 (英)	動物形態機能学Ⅱ ( Animal Form Function Ⅱ )		必修 選択	必修・選択必修 選択等	年次	2	担当教員	小野裕之
	学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻	授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	60 ( 4 )	開講区分	前期・後期・通 年・集中等
教員の略歴	岩手大学農学部連合大学院卒業後動物病院勤務を経て小野動物病院開業							
授業の学習内容	動物の体のしくみを理解し、知識や行動につなげ、体の構造を理解する							
到達目標	この科目を受講して、学生が動物の体のしくみを理解し、飼育の知識と行動を行うことが出来るようにする							
評価方法と基準	定期試験:80% 授業態度と参加度:20%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	血液① 骨髄と血液の関連、血液の成り立ちと機能	講義範囲を予習・復習する。
2	/	講義	血液② 血球成分と血漿成分、赤血球の構造と機能	講義範囲を予習・復習する。
3	/	講義	血液③ 白血球の構造と機能、血小板機能と血液凝固機序及び線維素溶解	講義範囲を予習・復習する。
4	/	講義	生体の防御機構① 自然免疫	講義範囲を予習・復習する。
5	/	講義	生体の防御機構② 獲得免疫	講義範囲を予習・復習する。
6	/	講義	消化吸収と栄養代謝① 歯の分類と数、舌の形と働き、咽頭と嚥下	講義範囲を予習・復習する。
7	/	試験	消化吸収と栄養代謝② 胃・腸の働き	講義範囲を予習・復習する。
8	/	講義	消化吸収と栄養代謝③ 炭水化物・タンパク質・脂肪の消化と吸収	講義範囲を予習・復習する。
9	/	講義	消化吸収と栄養代謝④ 代謝総論	講義範囲を予習・復習する。
10	/	講義	消化吸収と栄養代謝⑤ 三大栄養素の分子のしくみ	講義範囲を予習・復習する。
11	/	講義	消化吸収と栄養代謝⑥ 代謝経路	講義範囲を予習・復習する。
12	/	講義	消化吸収と栄養代謝⑦ ビタミン・ミネラル	講義範囲を予習・復習する。
13	/	講義	まとめ	講義範囲を予習・復習する。
14	/	試験	試験	試験範囲を勉強する。
15	/	講義	振り返り	試験後、見直す。
準備学習 時間外学習			学校の図書やインターネットを利用して講義の範囲内を予習・復習する。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				



科目名 (英)	動物繁殖学 ( Breeding physiology )		必修 選択	必修・選択必修・ 選択等	年次	2	担当教員	高山ゆい
	学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻	授業 形態	講義・演習・実習 等	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期・後期・通年・ 集中等
教員の略歴	動物系専門学校卒業後動物看護師として臨床経験8年							
授業の学習内容	繁殖に関わる形態機能学を学び、妊娠・分娩と新生子管理、遺伝学の基礎知識を修得する							
到達目標	動物の体の構造と機能を理解し、主に犬猫の生殖器のしくみや性周期・交配と出産のメカニズムについて説明できる							
評価方法と基準	定期試験:80% 授業態度と参加度:20%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	雌雄の生殖器の形態と機能について理解する	講義範囲を予習・復習する。
2	/	講義	性成熟と発情周期について理解する	講義範囲を予習・復習する。
3	/	講義	発情兆候・スミアについて理解する	講義範囲を予習・復習する。
4	/	講義	卵巣周期と精子について理解する	講義範囲を予習・復習する。
5	/	講義	性ホルモンについて理解する	講義範囲を予習・復習する。
6	/	講義	授精・着床について理解する	講義範囲を予習・復習する。
7	/	講義	妊娠期間・妊娠中の管理について理解する	講義範囲を予習・復習する。
8	/	講義	妊娠診断について理解する	講義範囲を予習・復習する。
9	/	講義	出産までの準備について理解する	講義範囲を予習・復習する。
10	/	講義	出産の流れを理解する	講義範囲を予習・復習する。
11	/	講義	難産・助産について理解する	講義範囲を予習・復習する。
12	/	講義	新生子の管理について理解する	講義範囲を予習・復習する。
13	/	講義	遺伝様式・遺伝疾患について理解する	講義範囲を予習・復習する。
14	/	試験	試験	試験範囲を勉強する。
15	/	講義	振り返り	試験後、見直す。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				





科目名 (英)	動物栄養学 ( Animal Dietetics )		必修 選択	必修・選択必修・選 択等	年次	2	担当教員	鈴木 莉紗
	学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻	授業 形態	講義・演習・実習等	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期・後期・通年・ 集中等
教員の略歴	専門学校卒業後、動物病院に動物看護師として勤務。愛玩動物看護師。							
授業の学習内容	5大栄養素やその代謝など基礎栄養素を学ぶとともに、ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方法を取得する。							
到達目標	動物業務に必要な栄養学の知識を習得する。							
評価方法と基準	定期試験:80% 授業内評価:20%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	栄養と栄養素について理解する	講義範囲を予習・復習する
2	/	講義	5大栄養素(タンパク質)について理解する	講義範囲を予習・復習する
3	/	講義	5大栄養素(炭水化物)について理解する	講義範囲を予習・復習する
4	/	講義	5大栄養素(脂質)について理解する	講義範囲を予習・復習する
5	/	講義	5大栄養素(ビタミン)について理解する	講義範囲を予習・復習する
6	/	講義	5大栄養素(ミネラル)について理解する	講義範囲を予習・復習する
7	/	講義	水について理解する	講義範囲を予習・復習する
8	/	講義	エネルギーについて理解する	講義範囲を予習・復習する
9	/	講義	食性、嗜好、摂食行動について理解する	講義範囲を予習・復習する
10	/	講義	与えてはいけないものについて理解する	講義範囲を予習・復習する
11	/	講義	栄養要求量について理解する	講義範囲を予習・復習する
12	/	講義	食事管理について理解する	講義範囲を予習・復習する
13	/	講義	前期の復習とまとめ	講義範囲を予習・復習する
14	/	試験	試験	試験範囲を勉強する
15	/	講義	振り返り	試験後の見直し
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				

科目名 (英)	動物病理学 ( Animal Pathology )		必修 選択	必修・選択必修・ 選択等	年次	2	担当教員	高山清次
	学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻	授業 形態	講義・演習・実習 等	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期・後期・通年・ 集中等
教員の略歴	1985年麻布大学大学院獣医学部博士課程修了、獣医師、上妻商会代表							
授業の学習内容	様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を学び、病態について理解する							
到達目標	発病のメカニズムと病理学的特徴を理解できるようにする							
評価方法と基準	定期試験:80% 授業態度と参加度:20%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	病理学を学ぶ意味・病理解剖・検査の目的意義について理解する	講義範囲を予習・復習する。
2	/	講義	変性と物質沈着、壊死・アポトーシスについて理解する	講義範囲を予習・復習する。
3	/	講義	細胞増殖のメカニズム、再生、器質化について理解する	講義範囲を予習・復習する。
4	/	講義	過形成と肥大、萎縮と低形成について理解する	講義範囲を予習・復習する。
5	/	講義	充血とうっ血、出血の原因・病態について理解する	講義範囲を予習・復習する。
6	/	講義	虚血と梗塞、水腫、浮腫について理解する	講義範囲を予習・復習する。
7	/	講義	ショックの原因、分類、病態について理解する	講義範囲を予習・復習する。
8	/	講義	炎症の定義と特徴について理解する	講義範囲を予習・復習する。
9	/	講義	炎症の分類、経過について理解する	講義範囲を予習・復習する。
10	/	講義	腫瘍の定義と分類、原因と発生機序を理解する	講義範囲を予習・復習する。
11	/	講義	腫瘍の転移と進行について理解する	講義範囲を予習・復習する。
12	/	講義	先天異常について理解する	講義範囲を予習・復習する。
13	/	講義	組織標本の作製法について理解する	講義範囲を予習・復習する。
14	/	試験	試験	試験範囲を勉強する。
15	/	講義	振り返り	試験後、見直す。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				



科目名 (英)	動物薬理学 ( Animal Pharmacology )		必修 選択	必修・選択必修・選 択等	年次	2	担当教員	高山清次
	学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻	授業 形態	講義・演習・実習等	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期・後期・通年・集 中等
教員の略歴	1985年麻布大学大学院獣医学部博士課程修了、獣医師、上妻商会代表							
授業の学習内容	動物に使用される医薬品の分類・規制・保管、薬物動態、薬物の作用、投与方法、薬剤の形状、薬用量計算、各種薬物について学び、動物看護師として必要な薬理学の知識を理解することを目的とする。							
到達目標	動物薬理学を学ぶことにより、動物病院における薬物の管理や準備等、日常的に動物看護師が行う業務に対する理解を深めることができるようになり、より安全な獣医療を意識できるようになることを到達目標とする。							
評価方法及び基準	定期試験の結果(80%)に、授業態度と参加度(20%)を加味して評価する。							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	講義	薬物治療の概念と目的を理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
2	／	講義	医薬品の分類と法規が理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
3	／	講義	薬物の動態学、薬物の分布を理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
4	／	講義	薬物の作用発現の機序、薬物の生体内変化の機序を理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
5	／	講義	薬物の投与方法と薬物発現を理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
6	／	講義	治療薬の薬物名、剤形を理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
7	／	講義	①処方箋と調剤方法を理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
8	／	講義	②処方箋と調剤方法を理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
9	／	講義	薬用量の計算手順(正確な体重測定、薬剤の有効成分量)を理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
10	／	講義	薬用量の計算手順(投与量の計算方法)を理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
11	／	講義	消毒法(消毒法と滅菌法)を理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
12	／	講義	抗菌薬の種類と作用機序を理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
13	／	講義	抗菌薬に対する耐性獲得・抗菌薬の残留を理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
14	／	試験	評価試験	試験範囲を勉強し、試験後見直す。
15	／	講義	評価試験返却・解説・まとめ	試験範囲を振り返り、理解を深める。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	公衆衛生学Ⅱ (Public Morality Health Ⅱ)		必修 選択	必修・選択必修・選 択等	年次	2	担当教員	高山清次
	学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻	授業 形態	講義・演習・実習等	総時間 (単位)	30 (2)	開講区分	前期・後期・通年・集 中等
教員の略歴	1985年麻布大学大学院獣医学部博士課程修了、獣医師、上妻商会代表							
授業の学習内容	疾病や健康増進のしくみを学び、理解し明確な知識を持って、動物関係の仕事をする時はもちろんのこと、日常生活においても、この知識を役立てる。							
到達目標	この科目を受講した学生が、動物飼育の仕事に携わる時、公衆衛生の知識を持って、行動できることを目標とする。							
評価方法及び基準	定期試験:80% 授業態度と参加度:20%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	講義	獣医公衆衛生について理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
2	／	講義	環境衛生と公衆衛生について理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
3	／	講義	人と動物が共生するために必要な公衆衛生について理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
4	／	講義	人獣共通感染症について理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
5	／	講義	人獣共通感染症(回虫症、疥癬)について理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
6	／	講義	人獣共通感染症(トキソプラズマ症、猫ひっかき病)について理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
7	／	講義	人獣共通感染症(サルモネラ症、エキノコックス症)について理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
8	／	講義	人獣共通感染症(狂犬病、オウム病)について理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
9	／	講義	動物病院内感染について理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
10	／	講義	伝染病の感染経路について理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
11	／	講義	伝染病の感染源、感染経路への対策について理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
12	／	講義	消毒について理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
13	／	講義	滅菌について理解できる。	講義範囲を予習・復習する。
14	／	試験	評価試験	試験範囲を勉強し、試験後、見直す。
15	／	講義	評価試験返却・解説・まとめ	試験範囲を振り返り、理解を深める。
準備学習 時間外学習			学校の図書やインターネットを利用して講義の範囲内を予習・復習する。	
【使用教科書・教材・参考書】 □ 「動物看護の教科書 第3巻 緑書房」				

科目名 (英)	動物臨床看護学総論 ( Animal Clinical Nersing General )		必修 選択	必修	年次	2	担当教員	佐々木泉
	学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	前期
教員の略歴	1988年仙台市泉区にて動物病院開業、2018年株式会社I&U事業継承その後も勤務継続							
授業の学習内容	臨床の場で応用できる総合的な臨床看護の知識を理解する							
到達目標	医療の現場で働くための最低限の知識を身につける。 医療現場での動物看護師の役割を知る。							
評価方法と基準	定期試験100%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	オリエンテーション、コミュニケーションについて理解する	時間内に自己紹介文を作成・提出
2	/	講義	診療記録、動物看護記録等について動物病院での仕事の流れを含めて	
3	/	講義	診療記録、動物看護記録等について動物病院での仕事の流れを含めて	
4	/	講義	診療記録、動物看護記録等について動物病院での仕事の流れを含めて	
5	/	講義	入院動物の看護について	
6	/	講義	若齢動物の看護について	
7	/	講義	高齢動物の看護について	
8	/	講義	zoonosisを疑う動物の扱い方	
9	/	講義	犬種毎の特徴と看護	
10	/	講義	猫種毎の特徴と看護	
11	/	講義	リスクマネジメントについて	
12	/	講義	在宅医療について	
13	/	講義	終末期にある動物の看護(安楽死含)	
14	/	講義	試験	
15	/	講義	振り返り	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	動物臨床看護学各論 I	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	佐々木泉
	( Animal Clinical Nursing Detailed Exposition I )	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	通年
学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻						
教員の略歴	1988年仙台市泉区にて動物病院開業、2018年株式会社I&U事業継承その後も勤務継続						
授業の学習内容	動物病院で遭遇する疾患について詳しく知る						
到達目標	一般的な病態への理解を深める 一次診療で遭遇する一般的な疾患についての知識を習得する						
評価方法と基準	定期試験100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	トリアージについて	時間内に自己紹介文を作成・提出
2	/	講義	救急疾患とその対応	
3	/	講義	救急疾患とその対応	
4	/	講義	臨床徴候について	
5	/	講義	臨床徴候について	
6	/	講義	日常診療でよく遭遇する疾患	
7	/	講義	日常診療でよく遭遇する疾患	
8	/	講義	日常診療でよく遭遇する疾患	
9	/	講義	日常診療でよく遭遇する疾患	
10	/	講義	日常診療でよく遭遇する疾患	
11	/	講義	日常診療でよく遭遇する疾患	
12	/	講義	日常診療でよく遭遇する疾患	
13	/	講義	前期のおさらい	
14	/	講義	試験	
15	/	講義	振り返り	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	動物臨床検査学 ( Animal Clinical Examination )		必修 選択	必修・選択必修・選 択等	年次	2	担当教員	鈴木 莉紗
	学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻	授業 形態	講義・演習・実習等	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	前期・後期・通年・ 集中等
教員の略歴	専門学校卒業後、動物病院に動物看護師として勤務。愛玩動物看護師。							
授業の学習内容	様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方について理解する。							
到達目標	各種検査の目的や意義を理解し、正確に行うことができる。							
評価方法と基準	定期試験:80% 授業内評価:20%							

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1	/	講義	臨床検査とは何か理解する		講義範囲を予習・復習する
2	/	講義	検査の基準値、感度、特異度、精度管理について理解する		講義範囲を予習・復習する
3	/	講義	顕微鏡の使い方について理解する		講義範囲を予習・復習する
4	/	講義	糞便検査の目的について理解する		講義範囲を予習・復習する
5	/	講義	糞便の取り扱い、採取方法を理解する		講義範囲を予習・復習する
6	/	講義	糞便検査の手順を理解する		講義範囲を予習・復習する
7	/	講義	糞便検査の手順を理解する		講義範囲を予習・復習する
8	/	講義	尿検査の目的について理解する		講義範囲を予習・復習する
9	/	講義	尿の取り扱い、採取方法を理解する		講義範囲を予習・復習する
10	/	講義	尿検査の手順を理解する		講義範囲を予習・復習する
11	/	講義	尿検査の手順を理解する		講義範囲を予習・復習する
12	/	講義	血液検査の目的を理解する		講義範囲を予習・復習する
13	/	講義	全血球計算について理解する		講義範囲を予習・復習する
14	/	試験	試験		試験範囲を勉強する
15	/	講義	振り返り		試験後の見直し
準備学習 時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】 □					



科目名 (英)	適正飼養指導論 ( Proper Breeding Guidance theory)		必修 選択	必修・選択必修・選択等	年次	2	担当教員	関口順子
	学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻	授業 形態	講義・演習・実習等	総時間 (単位)	60 ( 4 )	開講区分	前期・後期・通年・集中等 曜日・時限
教員の略歴	東京農業大学農学部畜産学科卒業後動物系専門学校勤務、認定動物看護師資格所持、専任教員							
授業の学習内容	愛玩動物の効用や飼養目的等を理解した上で、適正飼養の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政のしくみについて理解する。							
到達目標	この科目を受講した学生が、広い視野と柔軟な考え方をもち、「人と動物のより良い関係」を築くことができる業界人になることを目標としている。							
評価方法と基準	定期試験:80% 授業態度と参加度:20%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	人と動物との関係を理解する	講義範囲を予習・復習する。
2	/	講義	愛玩動物の適正飼養の目的、概念と愛玩動物の現状について理解する	講義範囲を予習・復習する。
3	/	講義	愛玩動物飼育によって人間が受ける恩恵と問題点を理解する①	講義範囲を予習・復習する。
4	/	講義	愛玩動物飼育によって人間が受ける恩恵と問題点を理解する②	講義範囲を予習・復習する。
5	/	講義	ペットロスと反応	講義範囲を予習・復習する。
6	/	講義	ペットロスと対象喪失に伴う悲哀の心理過程	講義範囲を予習・復習する。
7	/	試験	適正飼養に関する支援の目的と活動について理解する	試験範囲を勉強し、試験後、見直す。
8	/	講義	動物取扱業者における適正飼養について理解する	講義範囲を予習・復習する。
9	/	講義	愛玩動物の過剰繁殖の問題とその対策について理解する	講義範囲を予習・復習する。
10	/	講義	問題行動予防のための適切な飼養方法としつけ、飼い主に指導すべき事項や方法について理解する	講義範囲を予習・復習する。
11	/	講義	愛玩動物とその飼い主の災害への備えを理解し、説明できる	講義範囲を予習・復習する。
12	/	講義	災害獣医療の概要と課題を理解し説明できる	講義範囲を予習・復習する。
13	/	講義	平常時と災害時における愛玩動物看護師の役割について理解する	講義範囲を予習・復習する。
14	/	試験	評価試験	試験範囲を勉強し、試験後、見直す。
15	/	講義	評価試験返却・解説・まとめ	試験範囲を振り返り、理解を深める。
準備学習 時間外学習			学校の図書やインターネットを利用して講義の範囲内を予習・復習する。	

【使用教科書・教材・参考書】



科目名 (英)	適正飼養指導論 ( Proper Breeding Guidance theory)		必修 選択	必修・選択必修・選択等	年次	2	担当教員	関口順子
	学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻	授業 形態	講義・演習・実習等	総時間 (単位)	60 ( 4 )	開講区分	前期・後期・通年・集中等 曜日・時限
教員の略歴	東京農業大学農学部畜産学科卒業後動物系専門学校勤務、認定動物看護師資格所持、専任教員							
授業の学習内容	愛玩動物の効用や飼養目的等を理解した上で、適正飼養の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政のしくみについて理解する。							
到達目標	この科目を受講した学生が、広い視野と柔軟な考え方をもち、「人と動物のより良い関係」を築くことができる業界人になることを目標としている。							
評価方法と基準	定期試験:80% 授業態度と参加度:20%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	公衆衛生業務における愛玩動物看護師の役割について理解する①	講義範囲を予習・復習する。
2	/	講義	公衆衛生業務における愛玩動物看護師の役割について理解する②	講義範囲を予習・復習する。
3	/	講義	動物愛護習慣の役割と実施状況について理解する①	講義範囲を予習・復習する。
4	/	講義	動物愛護習慣の役割と実施状況について理解する②	講義範囲を予習・復習する。
5	/	講義	犬や猫の引き取り及び負傷動物などの收容や処分状況について理解する①	講義範囲を予習・復習する。
6	/	講義	犬や猫の引き取り及び負傷動物などの收容や処分状況について理解する②	講義範囲を予習・復習する。
7	/	試験	動物の事故の内容と報告状況について理解する	試験範囲を勉強し、試験後、見直す。
8	/	講義	愛玩動物管理センターの活動及び動物愛護推進員・協議会の役割を理解する①	講義範囲を予習・復習する。
9	/	講義	愛玩動物管理センターの活動及び動物愛護推進員・協議会の役割を理解する②	講義範囲を予習・復習する。
10	/	講義	愛玩動物管理センターの活動及び動物愛護推進員・協議会の役割を理解する③	講義範囲を予習・復習する。
11	/	講義	動物取扱責任者の選任条件と役割について理解する①	講義範囲を予習・復習する。
12	/	講義	動物取扱責任者の選任条件と役割について理解する②	講義範囲を予習・復習する。
13	/	講義	単元問題演習	講義範囲を予習・復習する。
14	/	試験	評価試験	試験範囲を勉強し、試験後、見直す。
15	/	講義	評価試験返却・解説・まとめ	試験範囲を振り返り、理解を深める。
準備学習 時間外学習			学校の図書やインターネットを利用して講義の範囲内を予習・復習する。	
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				



科目名 (英)	動物形態機能学実習 ( Animal Form Function clinical practice )	必修 選択	必修・選択必修・選 択等	年次	2	担当教員	小野裕之
学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻	授業 形態	講義・演習・実習等	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	前期・後期・通 年・集中等
教員の略歴	岩手大学農学部連合大学院卒業後動物病院勤務を経て小野動物病院開業						
授業の学習内 容	動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像などを通じて学ぶ。						
到達目標	動物形態機能学で習得した知識の実践力を身につける						
評価方法と基準	定期試験 80% 授業内評価 20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	／	演習・実習	動物形態機能学実習概論 犬・猫の骨・筋・内臓のIと相関関係を立体的に理解する	授業範囲の予習と復習
2	／	演習・実習	動物形態機能学実習概論 犬・猫の骨・筋・内臓のIと相関関係を立体的に理解する	授業範囲の予習と復習
3	／	演習・実習	体位と方向を示す用語を知り、説明できる	授業範囲の予習と復習
4	／	演習・実習	代表的な骨の名称と特徴	授業範囲の予習と復習
5	／	演習・実習	代表的な関節の名称と特徴、機能	授業範囲の予習と復習
6	／	演習・実習	代表的な骨格筋の名称と特徴、機能	授業範囲の予習と復習
7	／	演習・実習	内臓器官の配置、生殖器の雌雄差	授業範囲の予習と復習
8	／	演習・実習	顕微鏡各部位の名称、鏡検条件、操作方法、管理法	授業範囲の予習と復習
9	／	演習・実習	主要臓器の組織像を顕微鏡で観察、スケッチ(甲状腺)、代表的な構造について機能との関係	授業範囲の予習と復習
10	／	演習・実習	主要臓器の組織像を顕微鏡で観察、スケッチ(甲状腺)、代表的な構造について機能との関係	授業範囲の予習と復習
11	／	演習・実習	主要臓器の組織像を顕微鏡で観察、スケッチ(肺)、代表的な構造について機能との関係	授業範囲の予習と復習
12	／	演習・実習	主要臓器の組織像を顕微鏡で観察、スケッチ(肺)、代表的な構造について機能との関係	授業範囲の予習と復習
13	／	演習・実習	まとめ	授業範囲の予習と復習
14	／	試験	試験	今までの演習内容を行う
15	／	講義・演習	振り返り	試験範囲を振り返り、理解を深める。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				



科目名 (英)	動物臨床看護学実習 I ( Animal Clinical Nersing Practical Traning I )		必修 選択	必修・選択必修・ 選択等	年次	2	担当教員	上手健太郎
	学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻	授業 形態	講義・演習・実習 等	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	前期・後期・通年・ 集中等
教員の略歴	酪農学園大学獣医学部卒業後、動物病院等勤務を経て南相馬アニマルクリニック院長(獣医師)							
授業の学習内容	動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を修得する							
到達目標	動物の臨床看護に必要な知識を学び、動物看護師として業界で活躍する人材になることを目標としている。							
評価方法と基準	定期試験:80% 授業態度と参加度:20%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	動物看護計画と動物看護記録について理解する	講義範囲を予習・復習する。
2	/	講義・演習	事例による動物看護過程の展開記録を作成する	講義範囲を予習・復習する。
3	/	講義・演習	事例による動物看護過程の展開記録を作成する	講義範囲を予習・復習する。
4	/	講義	症状や入院・治療が動物と家族に及ぼす影響を理解する	講義範囲を予習・復習する。
5	/	講義	看護動物への関りの内容・方法を立案できる	講義範囲を予習・復習する。
6	/	講義	動物の看護上の問題・ニーズを理解する	講義範囲を予習・復習する。
7	/	講義・演習	事例による動物看護過程の展開記録を作成する	講義範囲を予習・復習する。
8	/	講義・演習	事例による動物看護過程の展開記録を作成する	講義範囲を予習・復習する。
9	/	講義・演習	入院動物の管理、アセスメントができる	講義範囲を予習・復習する。
10	/	講義・演習	ペインスケールを用いて痛みの程度を評価できる	講義範囲を予習・復習する。
11	/	講義・演習	栄養チューブの設置の準備や流動食の調整ができる	講義範囲を予習・復習する。
12	/	講義・演習	褥瘡をもつ動物の看護ができる	講義範囲を予習・復習する。
13	/	講義・演習	事例による動物看護過程の展開記録を作成する	講義範囲を予習・復習する。
14	/	試験	試験	試験範囲を勉強する。
15	/	講義	振り返り	試験後、見直す。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				





科目名 (英)	動物臨床検査学実習 ( Animal Clinical Laboratory science Training )	必修 選択	必修・選択必修・選択等	年次	2	担当教員	久田百恵
	学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻	授業 形態	講義(演習)実 習等	総時間 (単位)	60 2	開講区分 前期・後期・通 年・集中等
教員の略歴	認定動物看護師。動物病院勤務、ペットサロン勤務を経て動物系専門学校講師として勤務を経て専任教員						
授業の学習内容	検体検査及び生体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を習得する。						
到達目標	細胞診、心電図検査、エックス線検査、超音波検査、皮膚検査などができるようになる						
評価方法と基準	定期試験80%/出席率20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	実習	遠心分離機の使用法、ヘマトクリット管の使用法	講義範囲を予習・復習する。
2	/	実習	採血、採決部位と保定法、手順	講義範囲を予習・復習する。
3	/	実習	CBC検査の手技、実施手順の確認	講義範囲を予習・復習する。
4	/	実習	ヘマトクリット管による検査、血漿、血清の分離	講義範囲を予習・復習する。
5	/	実習	血液塗抹標本の作製、ライト・ギムザ染色法	講義範囲を予習・復習する。
6	/	実習	血液塗抹標本の作製、ライト・ギムザ染色法	講義範囲を予習・復習する。
7	/	実習	白血球の百分比、血液生化学検査、簡易血清学的検査、クロスマッチ試験	講義範囲を予習・復習する。
8	/	実習	白血球の百分比、血液生化学検査、簡易血清学的検査、クロスマッチ試験	講義範囲を予習・復習する。
9	/	実習	尿検査と物理化学性状の記録、所見の記録	講義範囲を予習・復習する。
10	/	実習	尿検査と物理化学性状の記録、所見の記録	講義範囲を予習・復習する。
11	/	実習	糞便検査、採便法、顕微鏡検査法	講義範囲を予習・復習する。
12	/	実習	糞便検査、採便法、顕微鏡検査法	講義範囲を予習・復習する。
13	/	実習	細胞診の準備、補助	講義範囲を予習・復習する。
14	/	試験	試験	
15	/		振り返り	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				



科目名 (英)	動物臨床検査学実習 ( Animal Clinical Laboratory science Training )	必修 選択	必修・選択必修・選択等	年次	2	担当教員	久田百恵
	学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻	授業 形態	講義(演習)実習等	総時間 (単位)	60 2	開講区分 曜日・時限
教員の略歴	認定動物看護師。動物病院勤務、ペットサロン勤務を経て動物系専門学校講師として勤務を経て専任教員						
授業の学習内容	検体検査及び生体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を習得する。						
到達目標	細胞診、心電図検査、エックス線検査、超音波検査、皮膚検査などができるようになる						
評価方法と基準	定期試験80%／出席率20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	実習	細胞診検査と病理組織検査	講義範囲を予習・復習する。
2	/	実習	遺伝子検査	講義範囲を予習・復習する。
3	/	実習	心電図検査手順と準備、ポジショニングと保定、記録と解析内容の意味	講義範囲を予習・復習する。
4	/	実習	エックス線撮影条件の設定と準備、ポジショニングと保定	講義範囲を予習・復習する。
5	/	実習	放射線防護に必要な機材と着脱、現像手順とフィルム管理、crシステム	講義範囲を予習・復習する。
6	/	実習	超音波検査のしくみ、検査手順と検査前動物の準備と補助	講義範囲を予習・復習する。
7	/	実習	プローブの種類と取扱いの注意、機械の準備と使用後管理	講義範囲を予習・復習する。
8	/	実習	神経学的検査、動作、反応、外見の観察、必要な器具の準備と保定、補助、結果記録の記入	講義範囲を予習・復習する。
9	/	実習	姿勢反応試験、脊椎反射試験、脳神経機能試験、知覚試験	講義範囲を予習・復習する。
10	/	実習	眼科検査、視覚検査、眼科神経学的検査、シルマー試験	講義範囲を予習・復習する。
11	/	実習	眼科検査、眼圧測定、眼底検査、フルオレセイン染色	講義範囲を予習・復習する。
12	/	実習	皮膚検査、毛検査、くし検査、テープストリップ検査、培養検査等	講義範囲を予習・復習する。
13	/	実習	外耳道検査補助、必要な検査器材の準備と補助	講義範囲を予習・復習する。
14	/	試験	試験	
15	/		振り返り	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				



科目名 (英)	動物愛護適正飼養実習Ⅱ ( Animal Welfare and Breeding Practice Ⅱ )	必修 選択	必修・選択必修・選択等	年次	2	担当教員	関口順子
		授業 形態	講義(演習)実習等	総時間 (単位)	60 2	開講区分	前期・後期・通年・集中等
学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻						
教員の略歴	東京農業大学農学部畜産学科卒業後動物系専門学校勤務、認定動物看護師資格所持、専任教員						
授業の学習内容	検体検査及び生体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を習得する。						
到達目標	細胞診、心電図検査、エックス線検査、超音波検査、皮膚検査などができるようになる						
評価方法と基準	定期試験80%/出席率20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	実習	動物種に応じた安全なハンドリングができる	
2	/	実習	動物を安全に散歩・運動させることができる	
3	/	実習	天の散歩や運動、ふれあいのために、適切な道具(首輪、胴輪、リード、おもちゃなど)を選択することができる	
4	/	実習	基本的なグルーミングを実施できる	
5	/	実習	基本的なグルーミングを実施できる	
6	/	実習	基本的なグルーミングを実施できる	
7	/	実習	基本的なグルーミングを実施できる	
8	/	実習	基本的なグルーミングを実施できる	
9	/	実習	基本的なグルーミングを実施できる	
10	/	実習	基本的なグルーミングを実施できる	
11	/	実習	飼い主が法令に基づき遵守すべき対応について指導できる	
12	/	実習	動物の飼養が困難になっている飼い主への支援が説明できる	
13	/	実習	避難所等災害時の飼い主への支援が説明できる	
14	/	試験	試験	
15	/		振り返り	
準備学習 時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】



科目名 (英)	動物看護総合実習Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	関口順子
学科・コース	エコ・コミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	前期・後期・通年・ 集中等
教員の略歴	東京農業大学農学部畜産学科卒業後動物系専門学校勤務、認定動物看護師資格所持、専任教員						
授業の学習内容	動物病院での実際の動物看護業務を体験し、電話対応、問診、カルテの作成、整理など主に受付業務を中心に必要な知識、技術を身につける。また、医療チームの一員としての言動、立場に対する責任感を認識する。さまざまな職場でのインターンシップを通じて、動物関連業務における広い見識を身につける。						
到達目標	動物病院での実際の動物看護業務を体験し、身につけた知識や技術を総合的に実践できる。						
評価方法と基準	【学外】 実習施設での評価(各項目のチェック内容、総合判定及び総括コメント): 50% 【学内】 学校での実習報告(レポートとレジュメ)、研修日報: 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	実習オリエンテーション 「動物看護総合実習」の概要・目的を理解できる。	実習準備
2	/	演習	動物病院での実習・実践	実習内容の予習・復習
3	/	演習	動物病院での実習・実践	実習内容の予習・復習
4	/	演習	動物病院での実習・実践	実習内容の予習・復習
5	/	演習	動物病院での実習・実践	実習内容の予習・復習
6	/	演習	動物病院での実習・実践	実習内容の予習・復習
7	/	演習	動物病院での実習・実践	実習内容の予習・復習
8	/	演習	動物病院での実習・実践	実習内容の予習・復習
9	/	演習	動物病院での実習・実践	実習内容の予習・復習
10	/	演習	実習報告会 学んだことをもとにレポートを作成できる	実習内容のまとめ
11	/	演習	実習報告会 レポートをもとに学内で報告することができる	
12	/			
13	/			
14	/			
15	/			
準備学習 時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】





科目名 (英)	グローバルコミュニケーションⅠ	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	マウツロウ
学科・コース	エココミュニケーション科(3年制)動物看護師専攻	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期 後期
教員の略歴	カナダ ビクトリア州 ビクトリア大学大卒 専修 英会話スクーラー 主宰						
授業の学習内 容	外国人を前に怖がり恥ずかしがりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	定期テスト(筆記100%)						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)		
1		講義	クラスオリエンテーション L1 挨拶が出来るようになる		オンラインプラクティス L 1		
2		講義	L3 相手の情報を聞き出すことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る		オンラインプラクティス L3		
3		講義	L6 好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる		オンラインプラクティス L6		
4		講義	L8 相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 断りに応答することが出来るようになる		オンラインプラクティス L8		
5		講義	L9 L10 相手の家族について質問出来るようになる 自身の家族について説明出来るようになる 相手の性格と比較して説明出来るようになる		オンラインプラクティス L9 L10		
6		講義	L11 相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に返答出来るようになる		オンラインプラクティス L11		
7		講義	L7 L13 時間を尋ねることが出来るようになる 時間を伝えることが出来るようになる 相手の日程について質問出来るようになる 自分の日程について説明出来るようになる		オンラインプラクティス L7 L13		
8		講義	L14 継続して質問することが出来るようになる		オンラインプラクティス L14		
9		講義	L19 L20 ある場所の位置について質問出来るようになる ある場所の位置を説明出来るようになる 道案内が出来る、道順を尋ねることが出来るようになる		オンラインプラクティス L19 L20		
10		講義	L21 L23 ある行動の頻度について尋ねることが出来るようになる ある行動の頻度を説明出来るようになる		オンラインプラクティス L21 L23		
11		講義	L28 ある食べ物について質問出来るようになる ある食べ物を説明出来るようになる		オンラインプラクティス L28		
12		講義	L29 L30 過去の出来事について話すことが出来るようになる 過去の出来事について尋ねることが出来るようになる		オンラインプラクティス L29 L30		
13		講義	L32 予定について質問出来るようになる 予定について説明出来るようになる		オンラインプラクティス L32		
14		定期試験	定期試験 アセスメントテスト				
15		振り返り	振り返り				
準備学習		時間外学習	自宅で教科書に付録するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。				
【使用教科書・教材・参考書】		Speak Now 1					